

コープきんき

コープきんき事業連合は、コープしが・京都生協・ならコープ・よどがわ市民生協・パルコープ・いずみ市民生協・わかやま市民生協の近畿7生協を会員とする生活協同組合連合会です。

発行/2012年11月6日・通巻46号
生活協同組合連合会
コープきんき事業連合
〒532-0011
大阪市淀川区西中島5丁目
13番9号 新大阪MTビル1号館
TEL06-6838-4556

発行責任者/森 宏之
発行事務局/理事会室
e-mail: info@kiniki.coop

新商品・見直し商品の紹介

11月2回 新登場!

COOP 北海道ゆめぴりか
4kg
(無洗米 1,980円・通常精米 1,880円)

食味の優れた北海道の良食味米を値ごろを考慮して4kgで開発しました。

「ゆめぴりか」は、12年の歳月をかけて北海道が開発、2009年にデビューした北海道ブランドの将来を担う期待の品種。

- ななつぼしと同じ北海道の4産地を指定
- 粘り・硬さ・甘みなどのバランスに優れたお米



10月3回から見直しました

COOP だし自慢 とり鍋セット
360g 580円

セット内容を見直し880円から580円に価格帯を下げます。

- 稲庭風うどん2玉を→鶏だんご6個(90g)に置き換えます。
- 鶏肉(肩小肉)150g、スープ120gは変更ありません。

①だしのきいた関西風スープに、国産鶏肉と鶏だんご(6個)をセットしました。2~3人前。②スープは、かつおと昆布だしをきかせて、まるやかに仕上げています。③とり肉は、国産鶏ムネ肉の肩小肉を使用。セット内容=鶏肉150g、団子90g、スープ120g
※肩小肉とは鶏の手羽の付け根から背にかけた部分で、プリプリとした食感が特徴。



10月5回から見直しました 毎日食パンと同じ「湯ごね生地」を使用!!

2004年春の発売以来皆様にご利用いただいているロングセラー商品ですが、今回、食感をソフトに改善し、さらにお求めやすい100円に値下げすることで、より手軽にお召し上がりいただけるようにリニューアルしました。

- 現在も配合している「ゆごね生地」を増やしてもっちり感をだします。
- 新たに、植物油脂や水あめ・バターなどで作った「練り込み用クリーム」、海藻由来のアルギン酸を含む「加工でんぷん」、「乳化剤」を配合してさらにソフトな食感にします。

COOP レーズンロール
5個 100円



お歳暮は今年もコープで

コープきんきでギフト事業が始まり3年が経過しました。今年も、しが版、京都版、なら版、大阪・わかやま版の4誌を作成しています。

各生協人気商品に加え、例年人気の高い「干し柿」の特集ページを作成しました。また「個食ギフト」ページを作り、一人分を簡単に調理できる商品を集合展開しています。

人気商品の紹介



近為の漬物詰め合わせ (5点入り)
干枝漬、赤カブなどこの時期にしか味わえないお漬物セット

551豚まん・レンジ蒸籠セット
一つひとつ手作りで包みあげた大阪名物551豚まん、ボリューム満点の焼売、ちまきのセット。レンジセイロ付きです。



CONTENTS

- お歳暮は今年もコープで<お歳暮紹介> p1
- 国際協同組合年 産地訪問交流会の報告 p2
- 第2回組合員理事懇談会の報告 p3
- Web モニターの活動紹介 p4
- 第26回商品開発組合員懇談会の報告 p4

- コープきんき関西事業所(関西FDC)を開設しました p5
- 株式会社ささまの新社舎が完成 p5
- 品質保証の取り組み p6
- 事業報告(7月~9月、第2四半期) p7
- スマートフォンでカンタン注文!! p7
- 新商品・見直し商品の紹介 p8
- きんきげんき商品「丹後のばらずし」 p8



近畿の産物を使用している商品をもみんなで利用することで、近畿を元気にしたい!!

加悦ファーマーズライス
丹後のばらずし 1食
通常価格 680円
室温 賞味期間 お届け日当日

京都・丹後地方に古くから伝わる郷土料理「ばらずし」を丹後・与謝野町産のお米を使ってつくりました。酢飯と鯖そぼろを重ね、錦糸卵、しいたけ、蒲鉾などの具をのせたちらし寿司です。さば缶を使わず、自社工場でそぼろを製造しています。甘辛く炊き上げた鯖そぼろが特徴。どこか懐かしい故郷の味をご堪能いただけます。





2012 国際協同組合年

国際協同組合年産地訪問交流会

協同組合間提携で生まれた商品を通して、協同組合の価値について学ぶ産地訪問交流会に参加しました。

協同組合年とは
国連は2012年を国際協同組合年とすることを宣言しました。これは、協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められた証で、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されています。

J A さが

(全体の生協参加者は16名でした)



関東、近畿、九州の組合員さんと職員が集まりました



コープきんき共同開発のチキンライス

7月6日、7日、九州のJAさがとの交流会に、よどがわ市民生協、わかやま市民生協の組合員理事、役員7名が参加しました。JAさがは1960年代後半から全国でもいち早く農畜産加工に取り組み生協とも産直などで長い歴史があります。特に米飯加工品で「チキンライス」「鶏ごぼうピラフ」がおなじみです。生産者や製造現場で働くみなさんとの交流の中で、徹底した衛生管理など生産から加工までの工程を様々な角度から学ぶことができました。



ゴボウをささがきにする工程。1本1本を人の手でゴボウを挿入し、ささがきしていきます。



近畿、北陸、中国四国、九州から18名が集まりました

余市郡漁業協同組合

(全体の生協参加者は18名でした)

の漁場はカナダ等になっていますが、その原料を数の子に加工する高い技術力をもった余市郡漁協と漁獲地のカナダのプリンスパウト漁協、そして日本生協連の提携事業としてこれらの商品が生まれています。



水揚げされるニシン 写真は余市町教育委員会提供



数の子の選別は機械がしています。

第2回組合員理事懇談会

組合員理事懇談会は、コープきんきのガバナンス強化の一環として年に4回開催しています。コープきんきの事業や運営について組合員の立場で意見を話し合う場です。

第2回組合員理事懇談会を開催しました

2012年10月19日(金)、コープきんき大会議室において「2012年度第2回組合員理事懇談会」を開催しました。

門脇専務理事から、「若狭かにめし」事故のお詫びと経過報告、今後の対応についての報告がありました。その後、中村執行役員より「12年度上半期まとめと今後の課題」「宅配事業MD改革の内容と紙面の改革」について報告し、意見交換しました。また、「コープきんき非食品取扱基準の改定」について報告しました。最後に門脇専務理事からまとめがありました。



会議の様子

主なご意見(要約)

1. 12年度上半期まとめと今後の課題について
(コープきんきの業務全体についての報告、とりわけ上半期の厳しい事業の結果と下期以降の対策について報告がありました)

- ・コープペーシックは「確かな商品をお求めやすく」というコンセプトだが、そうでない商品もあり、全体として位置づけが中途半端だ。
- ・新発売商品を企画した新媒体「とピック」は楽しみにしている。しかし、その存在を知らない組合員も多く、もっと宣伝してほしい。
- ・きんきげんき商品は順調に利用されているのか。今後も宣伝を強めてほしい。
- ・自分へのご褒美商品などの企画充実を望む。
- ・下期対策について、利用人数の回復など会員生協と連携した取り組みが必要だ。また、価格訴求だけでは限界があり、価値訴求が重要になる。



報告の様子



2. 宅配事業MD改革の内容と紙面の改革

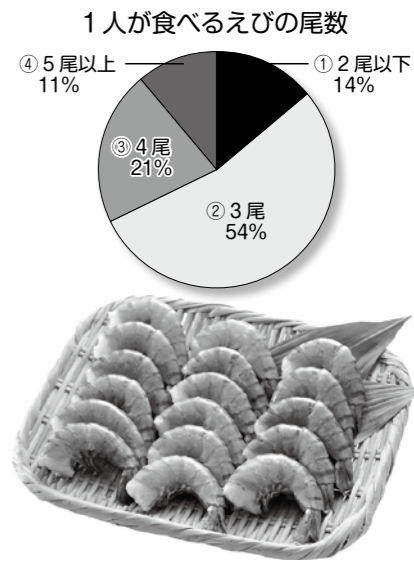
(2013年度から始まる宅配事業のMD改革や紙面改革の具体的内容について報告がありました。)

- ・サンプル紙面の出来は良いと思う。
- ・原料の高騰や消費税率アップ等の環境下で、今後の価格政策をどのように考えているのか。
- ・少量化はシニア層にも若年層にも共通した要望で、しっかりとすすめてほしい。
- ・COP商品の良さを地道に伝えていくことが重要。
- ・この提案は4次中計の論議の中で組合員から出された声を実現している内容で良いと思う。この内容が本当に実現できるかどうか問われている。



第26回商品開発組合員懇談会

コープきんきエリア共同開発商品の展示試食及び、開発・改善にむけて組合員さんから直接ご意見を伺う場で、年に2回開催しています。



Webモニターは、eフレンズ利用者であれば、誰でも気軽に商品について声を出せるモニターの仕組みです。

Webモニターの活動紹介

今回は、Webモニターの結果で商品企画を行った事例を紹介します。「ブラックタイガー」のリリースから16～17尾入りを開発!

殻付きのえびは、天ぷら・フライ以外の料理ではどの程度使われているのだろうか? そのメニューやえびを使う料理の頻度・使用尾数を把握するために、6月にリサーチしました。

122名の方がアンケートに参加していただきました。

えびをメインにした料理の登場頻度は「半月に1回」が54.1%で最も多く、約半数の家庭が天ぷら・フライを中心に食べていました。天ぷら・フライにした場合、1人当たりが食べるえびの数は「3尾」「4尾」が多く、コメントからも家族4人では12尾で足りない、大人や食べ盛りの子どもさんは1人当たり4尾以上食べないと満足できないということがわかりました。

●現在の「ブラックタイガー(大)」は12尾入り。モニター結果を受け、16～17尾入った大サイズ310gを10月3日から発売することにしました。

2012年7月11日、日生協関西支所にて第26回商品開発組合員懇談会が開催され、会員生協から33名の組合員さんと職員、お取引先24社38名、日本生協連等から16名、きんき職員20名、計107名の参加で行われました。コープきんきの事業報告や今回の展示商品の説明、そして、特別報告として「コープイタリヤとの提携開発」をテーマにCOOPスパゲティ、ワイン、カットトマトの商品化にいたる経過や思いなどについて、日本生協連の担当職員から講演がありました。



組合員懇談会の展示試食風景



組合員懇談会の会議風景

新開発、見直しのCOOP商品人気上位5品は…

展示試食会では50品目のきんき開発改善商品などが勢ぞろいしました。メーカーさんとの交流をしながら率直な感想が飛び交いました。今回の50品目の中でのベスト5を紹介します。

商品名・規格	部門	開発
茶碗蒸し	日配	きんき開発 (4個で198円)
自家焼きパンを使ったシュガーラスク	菓子	きんき開発 (厚さと甘さが抜群)
骨取りさば煮つけ	水産	日生協開発 (骨とりで美味しい)
だし自慢とり鍋セット	畜産	きんき改善 (だしが美味しい)
毎日食パン (ゆごね生地配合)	パン	きんき改善 (やわらかく美味しい)



コープきんき関西事業所 (関西FDOC)を開設しました

10月15日、関西FDOC(京都府京田辺市の株式会社ヒューテクノオリン京都センター内に設置)の竣工式を行いました。10月5回の企画商品から稼働していきます。

関西FDOCとは

九州・下関地区以外(※)の全国からの冷凍商品を集約し、会員生協の物流センターへまとめて配送する役割を持っています。(※すでに九州FDOCを開設しており、九州・下関からの冷凍商品はそこを通過しています)

関西FDOC開設の目的

冷凍物流改革として、3つの目的をもって開設しました。1つ目は細分化・小口化している物流を集約し物流コストを改善することです。2つ目はロット単位での商品調達による仕入れ条件の改善と収益確保です。3つ目に一貫した温度管理によるコールドチェーンの確立やフードディフェンスの向上など物流品質を改善することです。



(株)ヒューテクノオリン京都センター全景



冷凍庫内の様子



竣工式

(株)ささまの新工場が完成

東日本大震災で被災した本社工場を復興

2012年9月19日、(株)ささま(宮城県名取市)の新工場竣工式が行われました。

コープきんきとの取引は練り製品の「笹かま」で、つながりの強いメーカー様です。竣工式には名取市長はじめ、お取引先、生協関係者など約150名が集い、コープきんきからは小池宅配商品部統括、日配・冷食グループの宮本バイヤーがお祝いに駆けつけました。

宮城県名取市(仙台空港北側に位置)は震度6、最大浸水高10m以上の津波に襲われ、地区全体が壊滅的な被害をうけました。ささまが所有する3つの工場もすべて全壊となり、被災当初は事業再開の断念も考えられたそうですが、従業員、関係者とともに1年6カ月の歳月をかけ、新しい本社工場の竣工に至りました。

工場の規模は以前より縮小されましたが、機械設備・ライン効率の向上によって生産量を維持する設計となっています。

コープきんきでは工場の稼働以降、点検・検査を踏まえて、2013年2月に商品企画の再開を予定しております。取扱再開の際は是非ご利用ください。



新工場



右がささま社長の佐々木圭亮様、左が奥様の靖子様、中央はコープきんきの小池統括

事業報告(7月~9月、第2四半期)

《宅配商品事業 コープきんき責任領域》

	実績	予算	昨年実績	予算比	前年比
供給高(千円)	37,191,610	38,450,627	37,404,980	96.7%	99.4%
荒利益高(千円)	10,152,793	10,573,780	10,413,530	96.0%	97.5%
荒利益率(%)	27.30%	27.50%	27.84%	-0.20%	-0.54%
世帯利用高(円)	3,651	3,740	3,770	97.6%	96.8%

※eフレンズ登録者数は9月20日現在で、329,282名(目標325,821名)、全体の供給高に占める構成比は14.5%です(目標15.3%)。

《その他の事業》

	供給高	実績	予算	昨年実績	予算比	前年比
ギフト事業		772,394	782,248	658,303	98.7%	117.3%
店舗事業		2,409,664	2,540,020	2,638,531	94.9%	91.3%

(単位:千円)

《第2四半期・宅配商品事業の特徴と課題》

コープきんき責任領域での供給高は、371億9,161万円で予算比96.7%、前年比99.4%、予算差では12億5,901万円の大幅な予算未達成となりました。また、責任数値である世帯利用高は3,651円で、予算差▲4円、前年差は▲88円(前年比96.8%)と後退しました。荒利益率(GPR)は27.30%で、予算差▲0.20%、前年差で▲0.54%となり、荒利益高は予算比96.0%で▲4億2,098万円の未達成となりました。

社会保障・税一体改革関連法案が成立し消費税の税率アップが現実味を帯びる中、近畿圏の世帯当たり食品支出額は6月から急激に低下し始めました。これと同様な動きがコープきんきの世帯利用高にもみられ、GW明け以降、急激に数値の変化があり7月中旬から一段と厳しさが強まっています。

第2四半期は、引き続き価格プロモーションを強めてきました。EDLP商品は前年比で2桁の伸長をしていますが、その伸長率が鈍化しています。益明けの利用人数回復では予約企画の導入や価格プロモーション、プレゼントキャンペーンなどに取り組みましたが、十分な成果は出ませんでした。エリア共同開発商品の全面的な見直しと品揃え開発に取り組み、紙面上でお知らせを強め、コープ商品の供給比率は高まりました。下期に向けて紙面の見直しをふくめて対策をすすめているところです。

品質保証のとりくみ

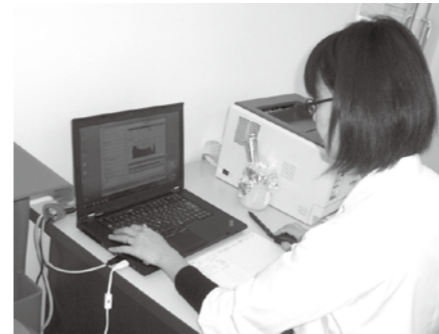
1. 放射性物質検査の状況について

コープきんきでは、昨年の福島第1原子力発電所の事故を受けて、食品での放射性物質汚染の状況確認をするため、2011年5月から農産品を中心に検査をしてきました。

2012年度は、コープラボでPI(TI)シンチレーション検出器での自前検査により検査数を増やすとともに、各取引先での検査情報を収集しながら、食品への影響を総合的に監視しています。生協での検査はセシウム134、セシウム137、ヨウ素131を対象に実施しており、今回6月~8月の期間に53検体を検査し、いずれも検出限界値以下でした。

新しい基準が設定されています

食品中の放射性物質は4月から、より一層、食品の安全と安心を確保する観点で「新基準値」での運用が始まっています。生協では、可能な限り事前の商品検査をするようにして、お届けする商品の事前検査を進めています。



放射性物質検査の様子

新たな基準値の概要

放射性物質を含む食品からの被ばく線量の上限を、年間5ミリシーベルトから年間1ミリシーベルトに引き下げ、これをもとに放射性セシウムの基準値を設定しました。

○放射性セシウムの暫定規制値

食品群	規制値 (単位:ベクレル/kg)
野菜類	500
穀類	
肉・卵・魚・その他	
牛乳・乳製品	200
飲料水	200

※放射性ストロンチウムを含めて規制値を設定

○放射性セシウムの新基準値

食品群	基準値 (単位:ベクレル/kg)
一般食品	100
乳児用食品	50
牛乳	50
飲料水	10

※放射性ストロンチウム、プルトニウムなどを含めて基準値を設定

シーベルト:放射線による人体への影響の大きさを表す単位 ベクレル:放射性物質が放射線を出す能力の強さを表す単位

スマートフォンでカンタン注文!

「注文電卓アプリ」リリース

スマートフォンが急速に普及しています。eフレンズではスマートフォンから簡単に注文番号で注文できる「注文電卓アプリ」をリリースしました。タブレットからも使うことができ、タッチキーも大きくわかりやすいデザインにしました。

2012年9月末現在のアプリはダウンロード人数7,424人、9月4回のご注文では3,184人の組合員さんからこのアプリでご注文いただきました。

詳しいアプリのダウンロード・インストール方法はPCサイトをご覧ください。
<http://efriends.kinki.coop/>



ログイン画面

eフレンズ限定商品も専用ページで見やすくなりました。アプリからはこの限定専用サイトにもアクセスできスピーディーにお買いものできます。

注文画面

限定専用画面

2012年6月~8月の3ヶ月の商品検査実施状況

検査区分	検査名	品目数	検体数	自主基準外
新規検査	微生物検査	417	1,537	13
	食品添加物検査	197	197	0
流通品検査	CO・OP商品微生物検査	646	646	13
	NB商品微生物検査	1,192	1,192	15
事前検査	農産物農薬検査	287	287	0
	放射能検査	53	53	0
合計		2,792	3,912	41

※商品検査の判定は、自主基準に基づいておこなっています。

基準外であっても商品の安全性に問題はありません。

※新規商品検査において基準外になった商品は供給を中止しています。

※流通品検査において基準外になった商品は、原因調査と対策を確認しています。

※放射性物質の検査について6~8月までに53件の検査を実施しました。放射性ヨウ素、放射性セシウムとも、検出限界値(25Bq/Kg、6月から厚労省の基準で実施)を超えたものはありません。



2. コープきんきでは、生協で取り扱う商品に対する組合員の信頼に応えるために、独自に商品検査を行っています。